

日時：2016年1月28日（木） 11:40～12:00

#### 質疑応答

Q：通期の業績予想について、3Qまでの進捗を見ると厳しいように見えますが、いかがでしょうか。

A：ご指摘の通り、進捗の遅れから通期目標に対しては厳しさがありません。当社の業績については4Qに占める比重が極めて大きいため、残り2ヵ月、目標に向けた努力を行っていきませんが、3Q累計期間において受注で約250億円、営業利益で18億円、前年同期からの減少があり、3Qまでの減少を4Qに取り戻すのは容易ではないと考えています。

Q：通期の営業利益について、セグメント別の見方を補足してください。

A：3Q累計期間においては、キャリアネットワークの利益減少が大きく、それ以外のセグメントは前年同等以上に推移しています。通期についても方向感は同様と考えています。キャリアネットワークについては、引き続き改善の手を打っていくものの、厳しい環境が継続すると考えています。一方で、企業ネットワークについては、堅調な事業環境が継続する中で、引き続き収益性改善にも取り組んでいきます。

Q：来年度の方向感を教えてください。今期の着地から、増収は難しいでしょうか。

A：来年度の業績は予算の中で検討中の段階ですが、キャリアネットワークについては、今期のような減少はないにしても、大きく戻ることも考えにくいと認識しています。社会インフラは、もともと想定していた通り、売上に消防無線デジタル化のピークアウトの影響が見込まれます。企業ネットワークは引き続き堅調に拡大が図れると見ていますが、全体として、来年度はここ数年のように大きく伸ばすのは難しいと考えています。

Q：来年度の利益について増益は可能でしょうか。

A：企業ネットワークの拡大と、キャリアネットワークの収益性改善とがポイントと考えています。まだ来年度の計画は議論中ですが、今年度の着落から少しでも増益を図りたいとの思いの中で、打ち手を含めて議論を行っています。

Q：配当について、配当性向などの基本指標はありますか。また、来年度に向けた考え方を教えてください。

A：配当について、配当性向でのコミットはしておらず、安定配当を基本としています。このような中で、これまでの収益改善を踏まえて、今年度で9期連続増配の計画としています。来年度の配当については、どの程度の利益が見込まれるか次第ではありますが、基本的には減配はしたくないとの考えの下、検討を行っていきます。

以 上